

## 平成21年度 第1回市民活動サポートセンター運営委員会 会議概要

平成21年5月21日(木) 18:30~21:30

横須賀市立市民活動サポートセンター

出席委員 12名…井上、加藤、河村、木曾、小林、佐倉、鷹野、根本、本間、前川、増田、渡辺  
事務局 2名…市民生活課 三富、堀井  
指定管理者 3名…NPO法人YMCAコミュニティサポート 田邊、神山、小澤  
傍聴者 0名

### 1 報告事項

- ・井上委員を委員長として承認した後、鷹野委員が委員長職務代理として委員長より推薦された。委員の自己紹介の後、次第に沿って報告を行った。

### 2 審議事項

## [意見概要]

### 1-(2) 利用状況・利用者の声について

(委員)

利用者を増やすために、見学自由にして、中に入ってもらえるような工夫が必要ではないか。

(指定管理者)

外から見てどのような施設か分かるように窓に看板を付けるなどの工夫をしている。見学者対応は、スタッフ数にも限りがあるため、どこまで出来るか分からない。

(委員)

追浜と久里浜の市民活動サポートセンターは、何をやっているか外見から分からない。利用者数を増やしたいのならば、本町のサポートセンターと同じようなサービスをする必要がある。

(委員)

県民活動サポートセンターは、ビルの9階から11階が市民活動団体のための施設となっているが、受付が9階にしかない。個人勉強をしている人、語学学習をしている人が多いため、非常に混雑している。原則的には市民活動をしている人が対象だが、結果的に学習目的で利用している人が多い。

(市民生活課)

たくさんの人に利用してもらいたいと思うが、目的以外の利用者を増やすのは施設の趣旨に反する。どこで線を引くかが難しい。

### 1-(4) 平成21年度年間予定について

(市民生活課)

運営委員会の開催日を訂正してほしい。

第2回目が8月20日(木)、第3回目が11月19日(木)、第4回目が2月18日(木)となります。

(委員)

運営委員会が年4回というのは、根拠があるのか。また、運営委員会はどのようなことをするのか。

(市民生活課)

サポートセンターの運営自体は指定管理者が行っている。運営委員会では運営に対する利用者及び市民としての意見を出したり、評価をする場と考えてほしい。4半期ごとに評価を行い、よりよいサポートセンター運営のあり方について意見交換したい。また、サポートセンターではさまざまな事業を行っているため、運営委員に協力をいただくこともある。

## **2-(1) 市民公益活動団体について**

(指定管理者)

毎年登録団体に登録情報の確認をお願いしているが、古い情報が残っていたため、昨年度末にDBの更新を行った。640 団体が、349 団体に減ったが、随時登録を受け付けている。公益の資料についても、再度提出しなおしてもらった。「公益あり」から「なし」になった団体は、4 団体である。

(委員)

活動内容の書き方が分かりにくい団体がある。スタッフが団体へ記載内容をアドバイスしてはどうか。

(指定管理者)

登録情報の提出はメールやファックスなど、直接団体と話が出来ない場合も多い。スタッフが内容を編集しても団体と連絡がとれず内容を確認できないため、提出していただいた文章のまま登録している。

(委員)

登録時の資料提出はメールやファックスはやめて手持ちのみにしてはどうか。登録更新するためなら、1 回くらいは来館できるだろう。市民団体の自立性を促すためにも、サービス過剰にしない方がよい。

(委員)

各団体の自助努力は基本だが、サービス提供と相反するのではないか。利用者の利便性も考えつつ、団体の自主性を促すような姿勢が必要である。

## **2-(2) 運営委員会の分科会について**

(市民生活課)

年4回の運営委員会は報告に終始してしまうため、定期的に話合いの場をもちたいと考えている。事務局から呼びかけて、ご都合のつく方にお集まりいただき、議論を深めたいと思う。テーマとして「サポートセンターの認知度を上げ、利用者数を増やすために何をしたらよいか」ということを考えているが、運営委員の皆さんがどのような課題認識をお持ちか知りたいのでアンケートをお願いする。5月末までにサポートセンターに提出してほしい。

## **その他 (サポートセンター設立 10 周年・のたろんフェア 10 周年について)**

(委員)

10 周年とのたろんフェアをバラバラにするのではなく、一緒にやってはどうか。一本化して盛り上げた方が効果的である。

(委員)

実行委員会は運営委員が担うのがよいのではないか。

(指定管理者)

10 周年になると、サポートセンターに関係してきた色々な人の思いもあるので、運営委員だけでなく、多くの人に関わってほしいと思っている。

(委員)

たくさんの方の行事を行うので、運営委員がどのように関わるべきか分からない。

(指定管理者)

1 年間を通して、サポートセンターのPRと10年間の市民活動や市民協働の検証を行いながら、2月の「のたろんフェア」に向けて、盛り上げていく。運営委員のみなさんは、任意で実行委員として参加してほしい。

## その他（久里浜、追浜市民活動サポセンの予約制について）

### （市民生活課）

久里浜市民活動サポートセンターの利用について、予約制にしてほしいという意見があった。久里浜と追浜の市民活動サポートセンターはスペースが限られており、専門スタッフもいないため、今まで予約制を導入していなかった。予約なしで自由に使える場所なので、予約が必要な場合は、予約が出来る他の施設を案内している。運営委員の皆さんは予約制についてどのように考えるか。

### （委員）

確かに予約が出来たら便利だが、機械は1台ずつしかないし、スタッフがいない施設で予約対応ができるのか。

### （委員）

予約だと受け渡しの時間が必要。予約時間より利用時間が伸びてしまった場合やキャンセルする場合の対応が難しい。

### （委員）

いつも満員で、予約が必要な状態なのか。

### （市民生活課）

常に満員というわけではない。もともと狭いスペースで、機器も1台ずつしかないので、利用するときに使えないのが不便だし、不安だということだと思う。

### （委員）

きちんと管理できればよいが、管理できない場合は利用者が混乱してしまい逆効果ではないか。

以上